Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

Z®-34/22N
Z®-34/22DC

Z34NF-17000 から
Z34ND-1900 から
Z34F-14000 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Seventh Edition
Third Printing
Part No. 1297935JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義..... 5
一般的な安全 8
作業員の安全 12
作業場の安全 13
説明..... 21
操作パネル 22
点検..... 24
操作手順 40
輸送および持ち上げの手順..... 48
メンテナンス 51
仕様..... 53

Copyright © 1996 Terex Corporation

第 7 版: 第 3 刷, 1 月 2025

「Genie」および「Z」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI A92.20
CSA B354.6

はじめに

この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

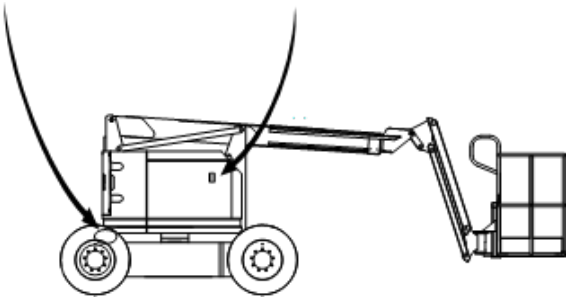
本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。

シリアル番号はシャーシに記載

シリアルラベル（カバーの下）



用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台レベルスイッチ


作業台回転スイッチ


ジブブーム上昇/下降


主ブーム上昇/下降


ターンテーブル回転

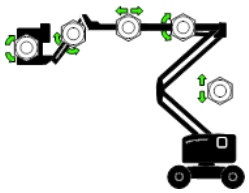

主ブーム延長/収縮スイッチ

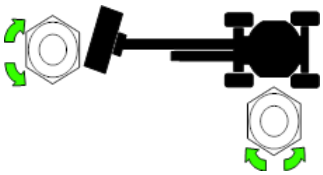

補助ブーム上昇/下降


走行前進/逆進


操舵右/左

地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台レベル、ジブブーム上昇/下降、主ブーム延長/収縮、主ブーム上昇/下降、および補助ブーム収縮/下降


ターンテーブル回転および
作業台回転

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 非操舵ホイールを越えてブームが回転している場合の走行機能。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

安定性増強とは以下を示します。

- フォームタイヤ。

制限された動作包絡面は以下のとおりです。

- 500 lbs/227 kg 作業台積載荷重量。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

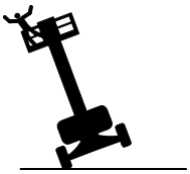
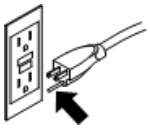
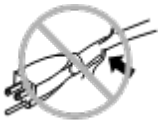
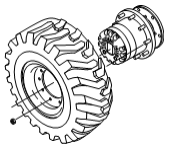
▲ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

▲ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

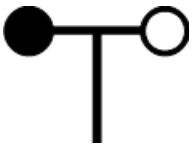
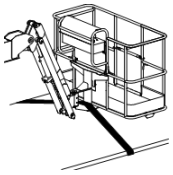
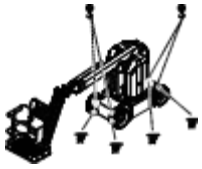
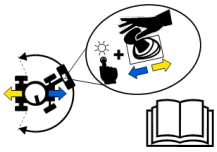
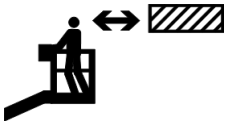
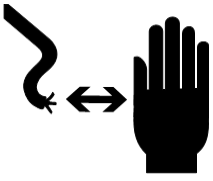
▲ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

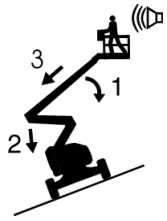
シンボルと危険を表すイラストの定義

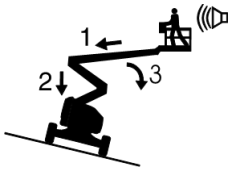
				
火災の危険	爆発の危険	爆発の危険	グロープラグを搭載した機械に、エーテルなどの高エネルギーな始動補助剤を使用しないでください。	禁煙。 火気厳禁。 エンジン停止。
				
挟まる危険	禁煙。	爆発の危険	感電の危険	必要な間隔を維持してください
				
転倒の危険	転倒の危険	接地されている AC 3 ピンのみ	損傷した電線およびコードを交換してください	同様の仕様のタイヤと交換してください。

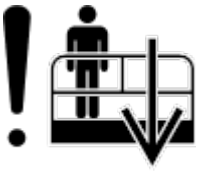
シンボルと危険を表すイラストの定義

 車輪荷重	 風速	 最大積載荷重量	 外圧	 カウンターウェイトとして使用するバッテリー
 荷締めの手順	 吊り上げ点	 作業台の荷締め手順	 吊り上げ&荷締め手順	 安全帯固定場所
 腐食性液体	 色分けされた方向矢印	 暴走の危険	 衝突の危険	 衝突の危険
 感電の危険	 接触を避ける	 バッテリーの切り離し	 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力

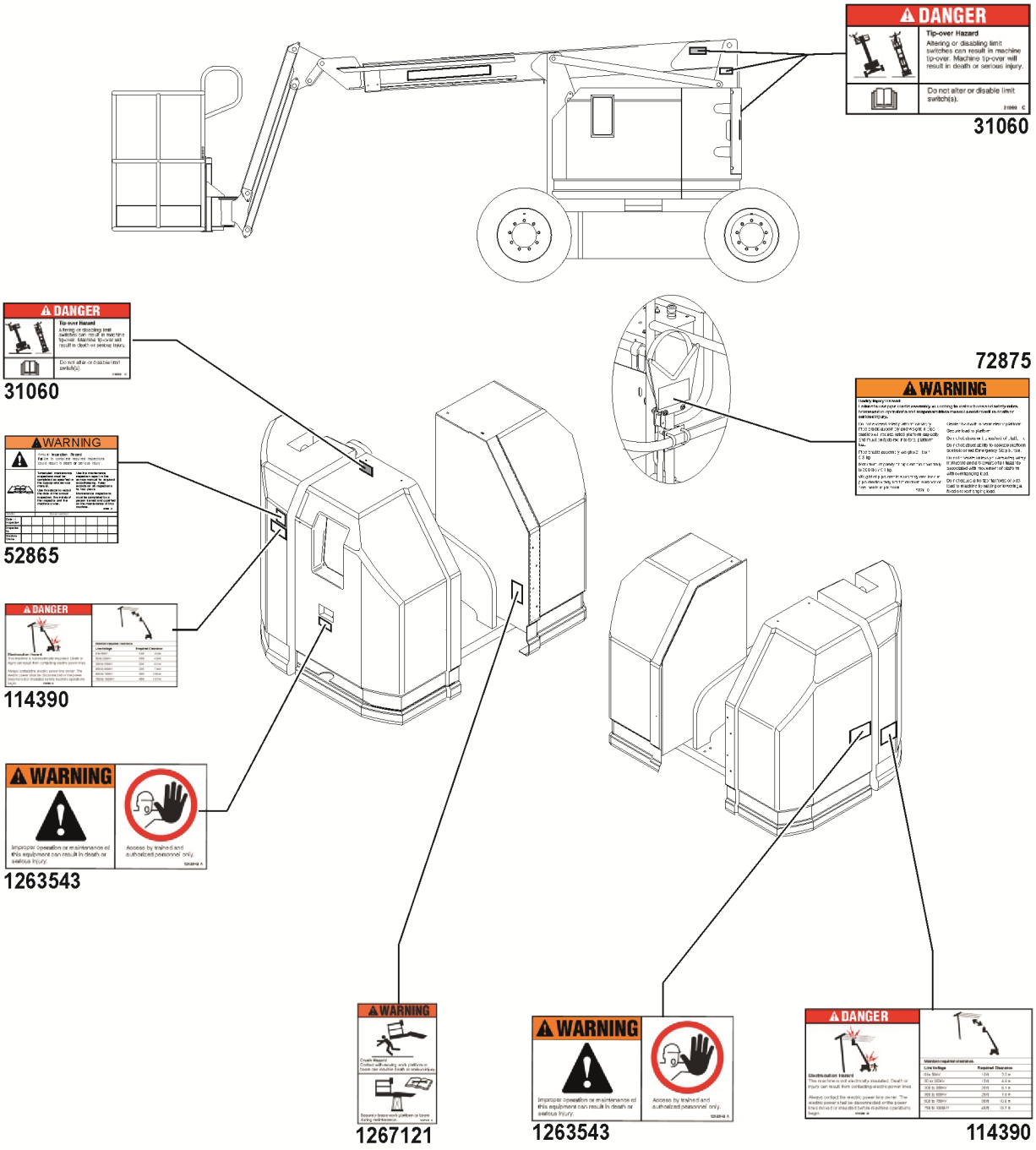
シンボルと危険を表すイラストの定義

<table>
<tr>
<td colspan="2">上昇中に傾斜アラームが鳴った場合の復元手順


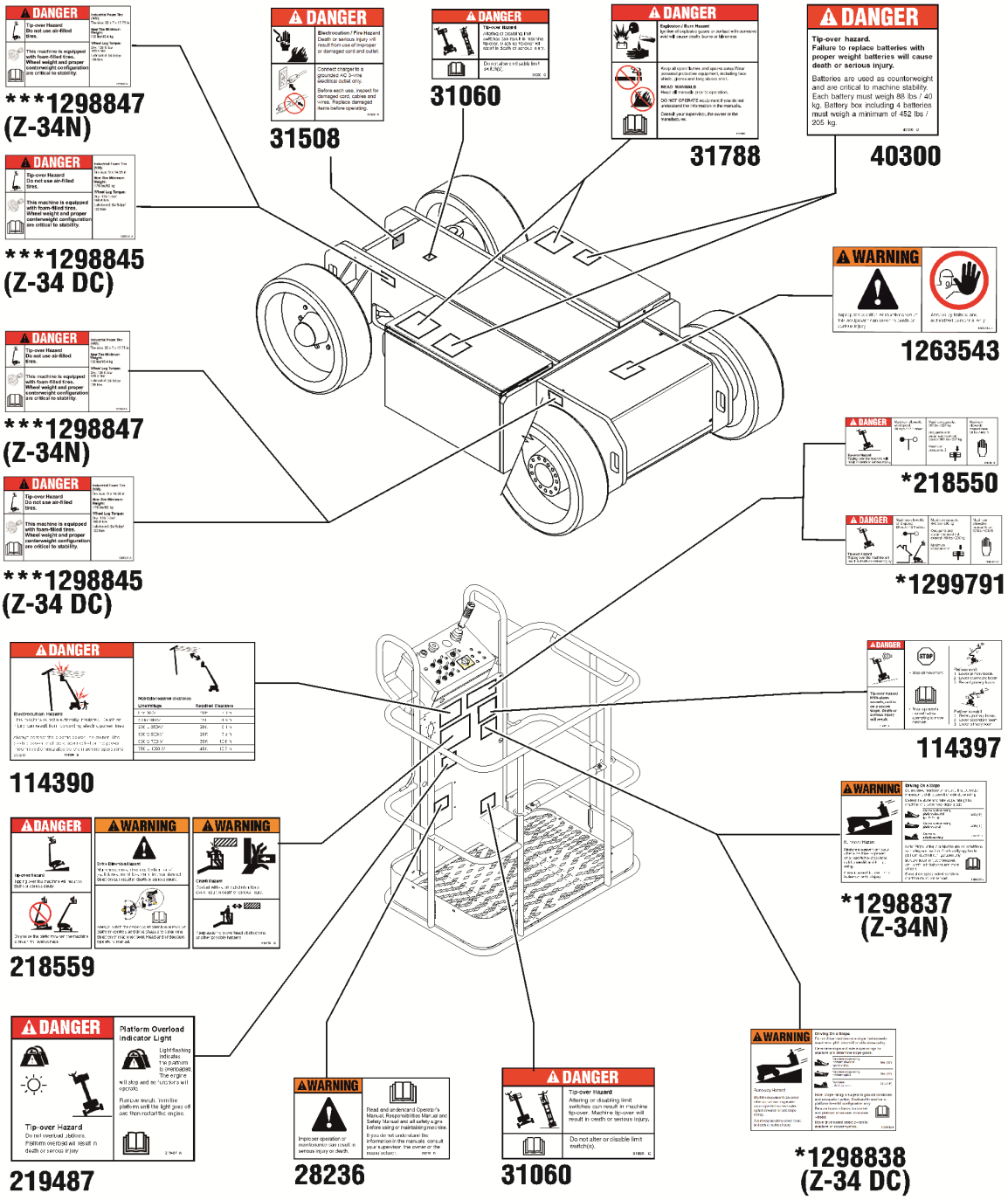


上り傾斜にある作業台:
1 主ブームを下げます。
2 補助ブームを下げます。
3 主ブームを収縮します。
下り傾斜にある作業台:
1 主ブームを収縮します。
2 補助ブームを下げます。
3 主ブームを下げます。</td>
<td>
操作説明書を読んでください</td>
<td>
サービスマニュアルを読んでください</td>
<td>
トレーニングを受け認定された担当者のみアクセス可能</td>
</tr>
<tr>
<td>
保守作業中は作業台またはブームを支える</td>
<td>
補助下降</td>
<td>
作業台過負荷</td>
<td>
挟まる危険</td>
<td></td>
</tr>
</table>

一般的な安全


DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable limit switch(s).
31060
31060
72875
WARNING
52865
DANGER
114390
WARNING
Improper operation or maintenance of this equipment can result in death or serious injury.
Access by trained and authorized personnel only.
1263543
WARNING
1267121
WARNING
Improper operation or maintenance of this equipment can result in death or serious injury.
Access by trained and authorized personnel only.
1263543
DANGER
114390

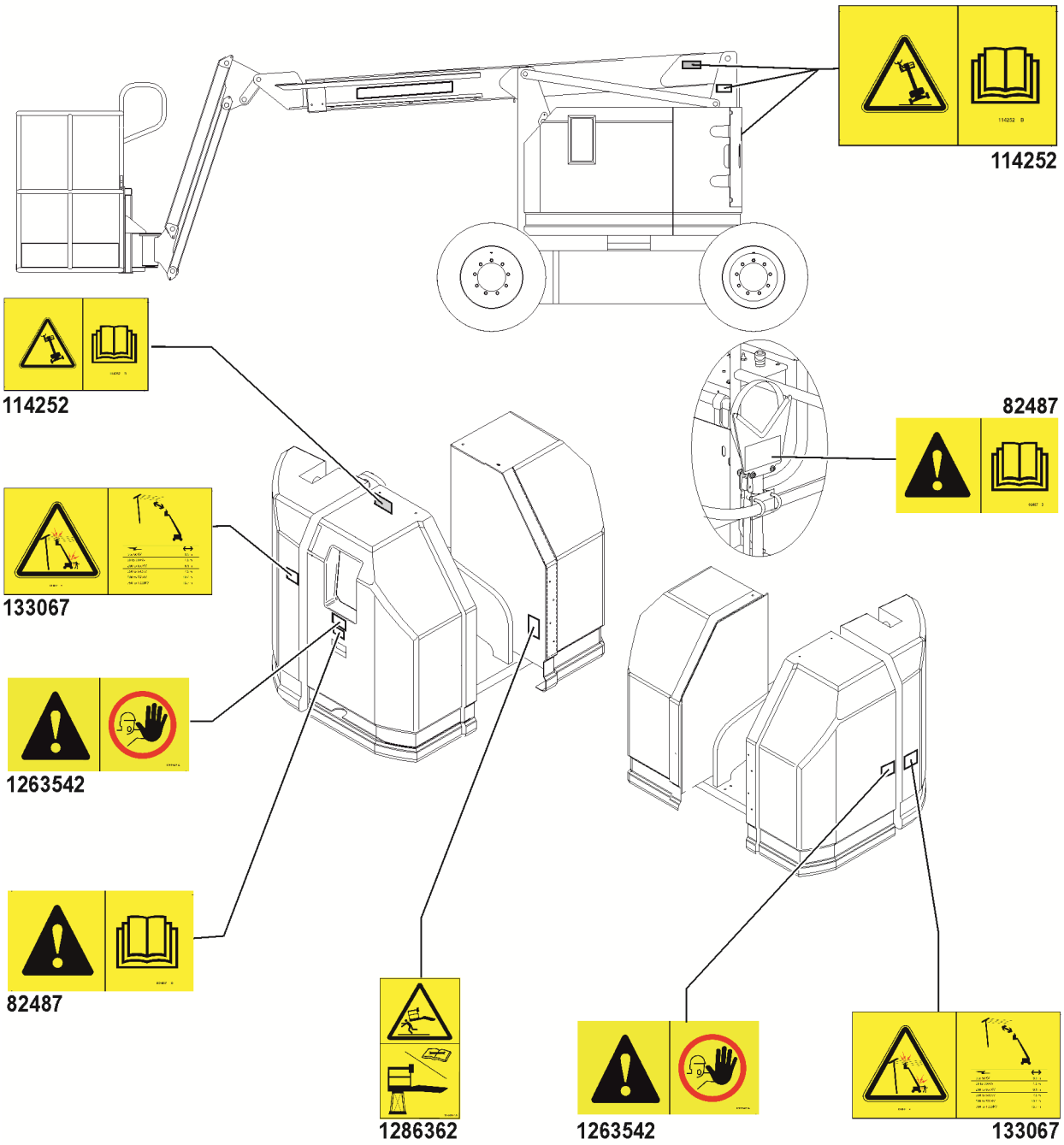
一般的な安全



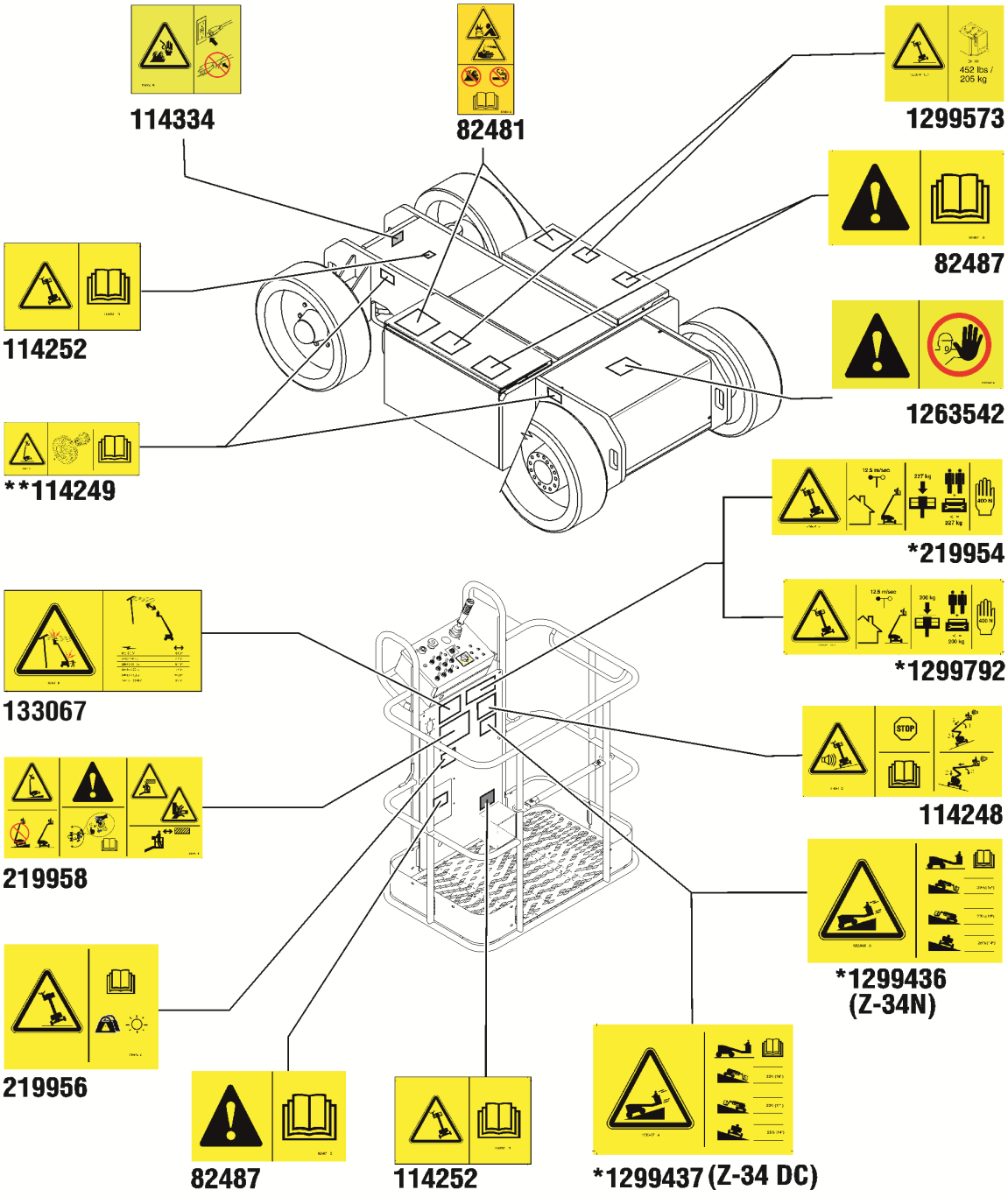
* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

一般的な安全


114252
114252
82487
133067
1263542
82487
1286362
1263542
133067

一般的な安全



* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。





適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全を確保するための 最短距離	
0 ～ 300V	接触を避ける	
300V ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50KV ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200KV ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350KV ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500KV ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750KV ～ 1,000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	500 lbs	227 kg
航空機保護パッケージ装備の機械	440 lbs	200 kg
最大作業員数		2

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はフォームタイヤを装備しています。安定性を保つには、タイヤ重量および適切なカウンターウェイトの構成が不可欠です。



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



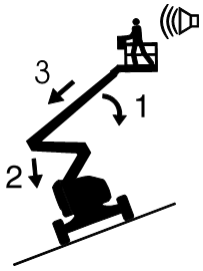
作業場の安全

水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

ブームが下降しているときに傾斜アラームが鳴った場合には、ブームを水平より高く延長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上昇させる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

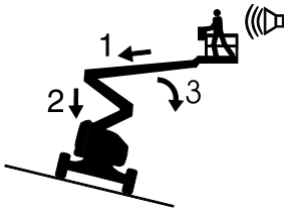
作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。



1 主ブームを下げます。
2 補助ブームを下げます。
3 主ブームを収縮します。

作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。



1 主ブームを収縮します。
2 補助ブームを下げます。
3 主ブームを下げます。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

主ブームが上昇または延長している状態、あるいは補助ブームが上昇している状態では、0.7 mph/時速 1 km 以上で走行しないで下さい。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

風速が 28 mph/秒速 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。28 mph/秒速 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

作業場の安全

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力 -
90 lbs/400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが締められていることを確認してください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 88 lbs/40 kg でなければなりません。バッテリーを含めた各バッテリーボックスの重量は最低 452 lbs/205 kg でなければなりません。

作業場の安全

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

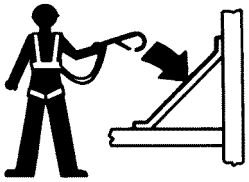
⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

Z-34/22N、 最大勾配の定格値、収納状態	
作業台が下り傾斜にある場合	35% (19°)
作業台が上がり傾斜にある場合	20% （11°）
横勾配	25% (14°)
Z-34/22 DC、 最大勾配の定格値、収納状態	
作業台が下り傾斜にある場合	30% （17°）
作業台が上がり傾斜にある場合	20% （11°）
横勾配	25% (14°)

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

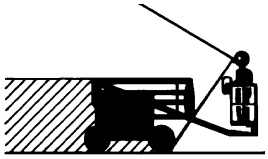
操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください（「製造者への連絡」を参照）。

作業場の安全

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

バッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

危険な場所、あるいは可燃性または爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

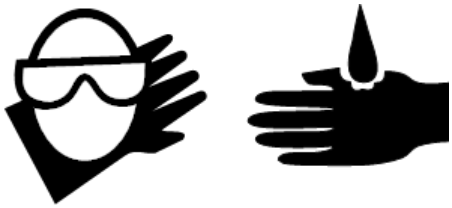
溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリーパックカバーは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

⚠ 部品損傷の危険

バッテリーの充電には、48V 以上の充電器を使用しないでください。

バッテリーパックは必ず両方一緒に充電してください。

バッテリーパックを取り外す前に、バッテリーパックプラグを外してください。

⚠ 感電の危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 88 lbs/40 kg でなければなりません。バッテリーを含めた各バッテリーボックスの重量は最低 452 lbs/205 kg でなければなりません。

⚠ 持ち上げ時の危険

バッテリーパックの取り外しや取り付けを行う場合は、フォークリフトを使用してください。

作業場の安全

⚠ 接触アラーム安全規則

接触アラームに付属しているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。定格作業台最大積載荷重量には接触アラームアッセンブリの重量が含まれるため、合計作業台荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。

接触アラームアッセンブリの重量は 10 lbs/4.5 kg です。

接触アラームがしっかりと設置されていることを確認してください。

使用後のロックアウト

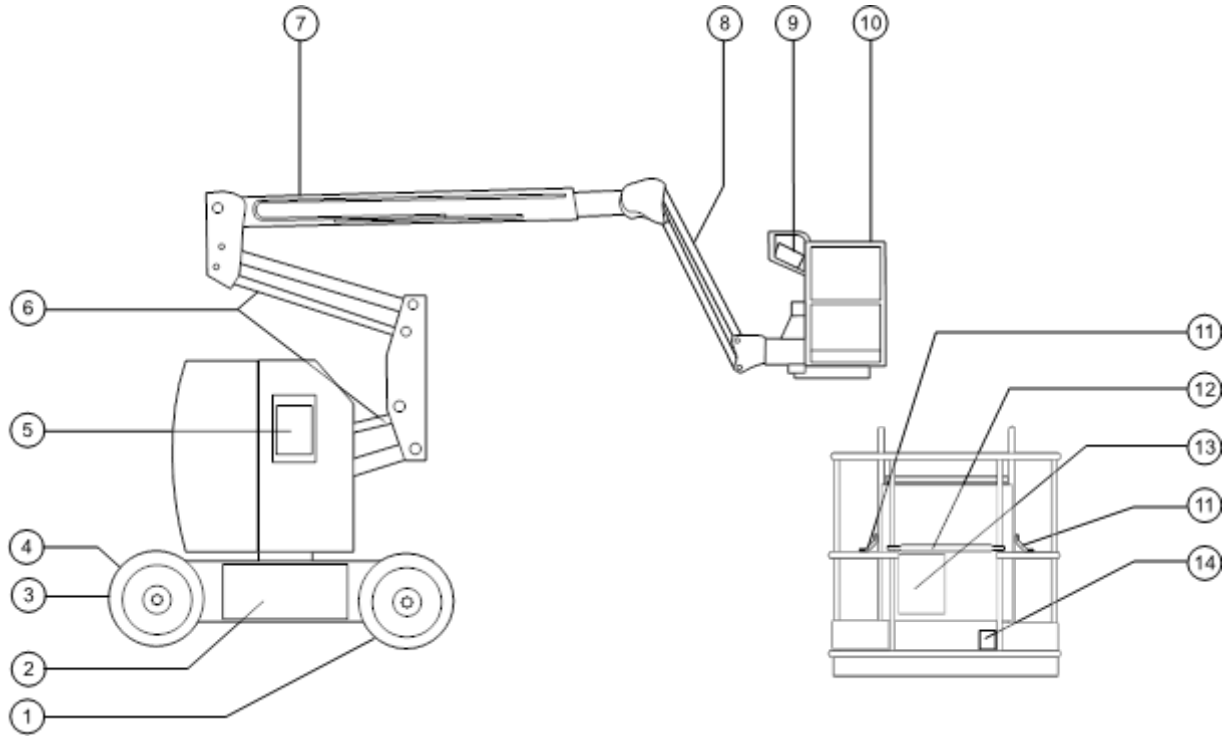
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

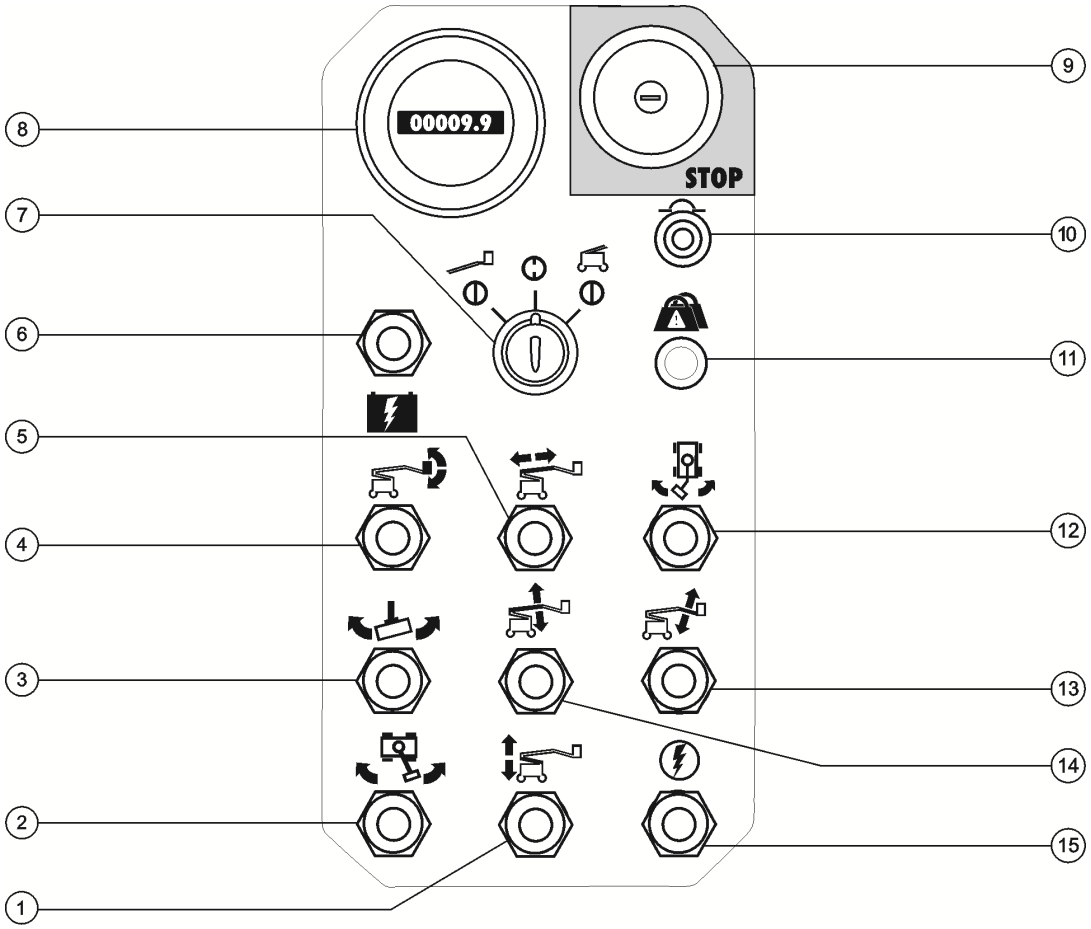
説明



1 非操舵側タイヤ
2 バッテリーボックス
3 操舵輪
4 充電器への電力（操舵輪の間）
5 地上操作パネル
6 補助ブーム
7 主ブーム
8 ジブブーム
9 作業台操作パネル
10 作業台
11 安全帯固定場所
12 スライド式中間レール
13 マニュアル保管場所
14 ペダルスイッチ

操作パネル

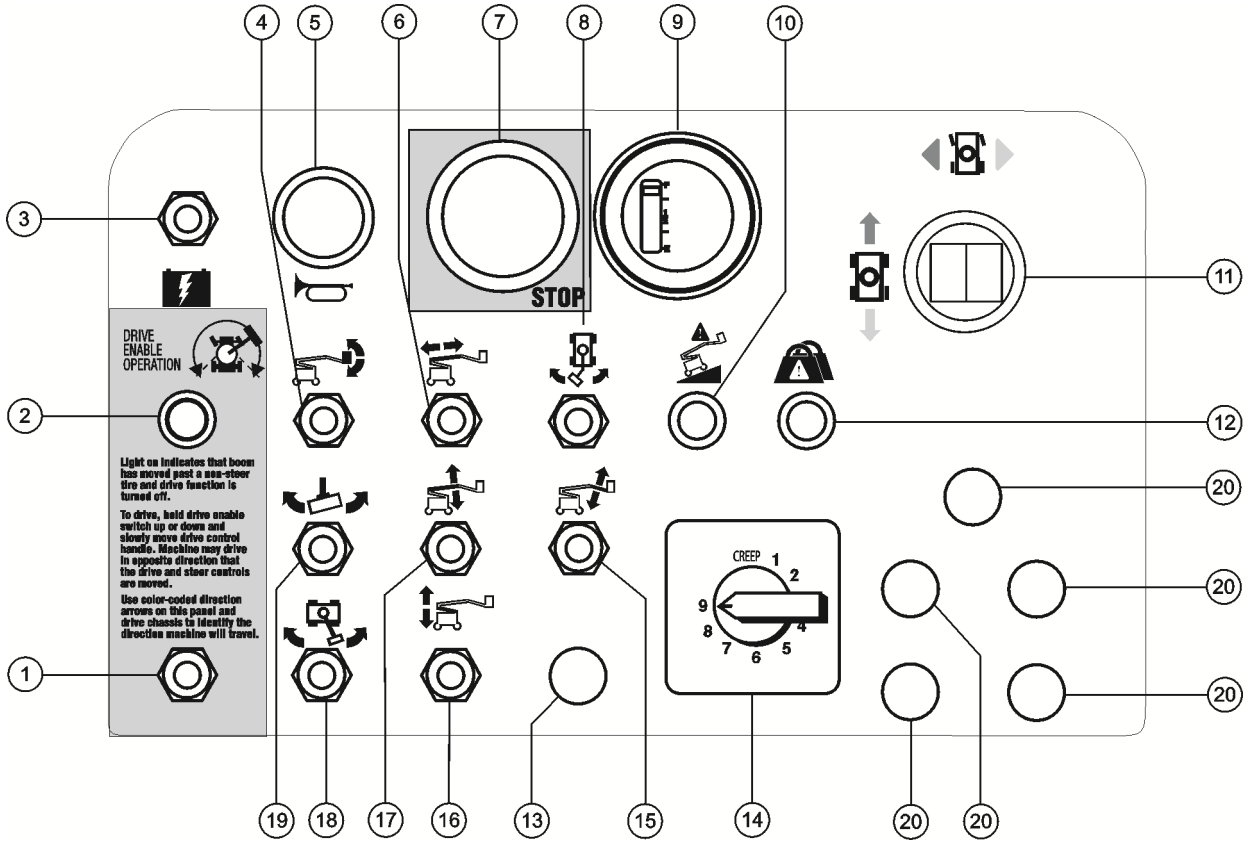
地上操作ステーションは、保管する際の作業台上昇手段、および機能テストのために使用します。地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。作業台操作ステーションが選択されている場合、非常停止スイッチを含めた作業台操作は不可能になります。



地上操作パネル

1 補助ブーム上昇/下降スイッチ
2 ターンテーブル旋回スイッチ
3 作業台回転スイッチ
4 作業台水平スイッチ
5 主ブーム延長/収縮スイッチ
6 補助電源スイッチ
7 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
8 時間計
9 赤色非常停止ボタン
10 制御電気回路用 10A ブレーカー
11 作業台過負荷表示ランプ
12 ジブブーム回転スイッチ（搭載されている場合）
13 ジブブーム上昇/下降スイッチ
14 主ブーム上昇/下降スイッチ
15 機能作動スイッチ

操作パネル



作業台操作パネル

1 走行機能スイッチ
2 走行機能表示ランプ
3 補助電源スイッチ
4 作業台水平スイッチ
5 ホーンボタン
6 主ブーム延長/収縮スイッチ
7 赤色非常停止ボタン
8 ジブブーム回転スイッチ（搭載されている場合）
9 バッテリー充電表示器 および/あるいは低圧遮断 (オプション)
10 傾斜表示ランプ (搭載されている場合)
11 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ
12 作業台過負荷表示ランプ（搭載されている場合）
13 機能優先 - 航空機保護パッケージ（搭載されている場合）
14 ブーム機能速度コントローラー
15 ジブブーム上昇/下降スイッチ
16 補助ブーム上昇/下降スイッチ
17 主ブーム上昇/下降スイッチ
18 ターンテーブル旋回スイッチ
19 作業台回転スイッチ
20 未使用

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

試験および検査に関するすべての地域と政府の規制に従ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、容器、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ 接触アラーム（搭載されている場合）
- ❑ ビーコンと警報（搭載している場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ 作業台のロードセル
- ❑ 安全帯固定場所

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 両方のバッテリーパックが所定の位置に設置され、適切に接続されていることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作の場合

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

4 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

非常停止のテスト

5 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

6 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

ブーム機能のテスト



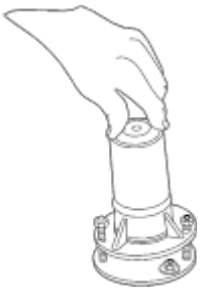
7 機能作動スイッチを、いずれかの側に押したままにしないようにします。各ブームおよび作業台の機能トグルスイッチが作動するか試します。

⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

傾斜センサーのテスト



9 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。作業台の赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にします。

10 操作パネル側のターンテーブルカバーを開いて、機能マニホールドの隣にある傾斜センサーを見つけてください。

11 傾斜センサーの片側を下に押します。

⊙ 結果:作業台のアラームが鳴ります。

補助電源のテスト

12 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。



14 同時に補助電源スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

点検

作業台操作

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

16 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

非常停止のテスト

17 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

警報のテスト

18 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

19 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

20 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

機械機能のテスト

21 ペダルスイッチを踏みます。

22 機械機能コントロール ハンドルまたはトグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

注記:ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度を制御できます。走行および操舵機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

リフト/走行選択機能のテスト

23 ペダルスイッチを踏みます。

24 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能コントロールハンドルを作動させます。

⊙ 結果:ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

点検

ステアリングのテスト

25 ペダルスイッチを踏みます。

26 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青色の三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルをゆっくりと青色の三角が示す方向に動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

27 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

28 ペダルスイッチを踏みます。

29 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

30 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行機能システムのテスト

31 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

32 主ブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを回転させます。

⊙ 結果:走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



33 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能は作動しません。

34 走行機能トグルスイッチを上か下にしたまま、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能が作動します。

注記:走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行制限速度のテスト

35 ペダルスイッチを踏みます。

36 主ブームを約 1 ft/30 cm 上昇します。

37 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 1 ft/30 cm を超えてはいけません。

38 主ブームを収納位置まで下ろします。

39 補助ブームを約 1 ft/30 cm 上昇します。

40 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 1 ft/30 cm を超えてはいけません。

41 補助ブームを収納位置まで下ろします。

42 主ブームを約 1 ft/30 cm 延長します。

43 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 1 ft/30 cm を超えてはいけません。

44 ブームを収納位置まで収縮します。

主ブームまたは補助ブームを上昇した状態、あるいは主ブームを延長した状態で走行速度が 1 秒間に 1 ft / 30 cm を超えた場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

点検

走行傾斜カットアウトのテスト

45 ペダルスイッチを踏みます。

46 ブームを完全に収納した状態で、機械のロール角度が 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

47 水平な地面に戻し、主ブームを収納位置から上昇します(水平から約 10°)。

48 機械のピッチ角度が 2.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 2.5° になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

49 主ブームを収納位置まで下ろします。

⊙ 結果:機械は走行します。

50 機械を水平な地面に戻し、主ブームを約 1.6 ft / 0.5 m 上昇します。

51 機械のピッチ角度が 2.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 2.5° になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

52 主ブームを収納位置まで収縮します。

⊙ 結果:機械は走行します。

53 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

54 ブームを完全に収納した状態で、機械のピッチ角度が 2.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

55 水平な地面に戻し、補助ブームを収納位置から上昇します(水平から約 15°)。

56 機械のピッチ角度が 2.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 2.5° になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

57 補助ブームを収納位置まで下げるか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

58 ブームを完全に収納した状態で、機械のピッチ角度が 2.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

59 水平な地面に戻し、主ブームを収納位置から上昇します(水平から約 10°)。

60 機械のロール角度が 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 4.5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

61 主ブームを収納位置まで下げるか、または逆進で走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

点検

62 機械を水平な地面に戻し、主ブームを約 1.6 ft / 0.5 m 上昇します。

63 機械のロール角度が 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 4.5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

64 主ブームを収納位置まで収縮します。

⊙ 結果:機械は走行します。

65 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

66 ブームを完全に収納した状態で、機械のロール角度が 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行を続けます。

67 水平な地面に戻し、補助ブームを収納位置から上昇します(水平から約 15°)。

68 機械のロール角度が 4.5° 以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 4.5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

69 主ブームを収納位置まで下ろします。

⊙ 結果:機械は走行します。

航空機保護パッケージのテスト (搭載されている場合)

注記: このテストの実施には 2 名で行う必要がある場合があります。

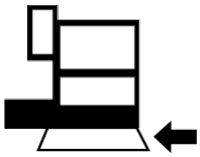
70 主ブームを約 1 ft/30 cm 延長します。

71 作業台底部の黄色いバンパーをいずれかの方向に 4 インチ/10 cm 動かします。

72 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブームおよび操舵機能は作動しません。

73 航空機保護優先スイッチを動かしてそのままにします。



74 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。

点検

接触アラームのテスト（搭載されている場合）

75 ペダルスイッチを作動させ、接触アラームケーブルを押すことで、スイッチソケットからアクチュエータを解除しないでください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅せず、機械のホーンが鳴りません。

76 ペダルスイッチを踏んで、作動させてください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

77 アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果：ランプが消え、ホーンが止まります。

78 ペダルスイッチを踏んで作動させ、接触アラームケーブルを押して、スイッチソケットからアクチュエータを解除してください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

79 機械の各機能を作動してください。

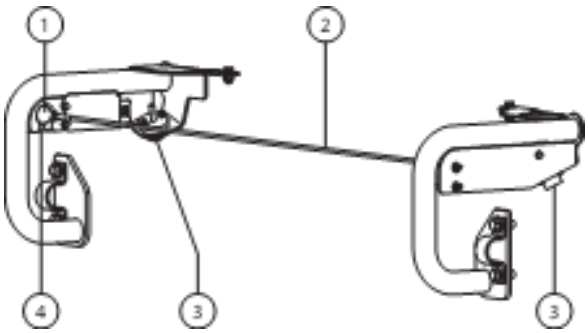
⊙ 結果：すべての機能は作動しません。

80 アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果：ランプが消え、ホーンが止まります。

81 機械の各機能を作動してください。

⊙ 結果：すべての機能が作動します。



1 アクチュエータ
2 接触アラームケーブル
3 点滅アラーム
4 スイッチソケット

点検

補助電源のテスト

82 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

83 ペダルスイッチを踏みます。

84 補助電力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28164	注意 – 危険物質	1
28174	ラベル – 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル – 作業台への電力、115V*	2
28236	警告 – 不適切な操作	1
28372	ラベル – バッテリーパックのプラグを外す**	2
31060	危険 – 転倒の危険、リミット スイッチ	6
31508	危険 – 感電の危険	1
31785	注意 – バッテリー充電器の操作手順	2
31788	危険 – 爆発/やけどの危険	2
32728	ラベル – 発電機 (オプション)*	1
37053	矢印 – 青	1
37054	矢印 – 黄	1
37055	三角 – 青	2
37056	三角 – 黄	2
38149	ラベル – 特許品	1
40299	注意 – バッテリー接続図	2
40300	危険 – 転倒の危険、バッテリー	2
44980	ラベル – 充電器への電力、115V*	1
44981	ラベル – 作業台への空気管*	2
46468	機能優先(航空機保護パッケージ)*	1
48731	ラベル – FM 承認 (オプション)*	1
48732	ラベル – EE 定格 (オプション)*	1
52475	ラベル – 輸送用の荷締め**	4
52865	警告 – 1 年毎の点検記録	1
65171	ラベル – 回路ブレーカー & 状態ランプ	1
72081	作業台操作パネル	1
72086	ラベル – 吊り上げ点**	4
72833	ラベル – 開く**	2
72867	ラベル – 作業ランプ (オプション)*	1
72875	警告 – パイプクレードル (オプション)***	2
82366	ラベル – Chevron Rando*	1
82592	地上操作パネル	1
97815	ラベル – 中間レールを下げる	1
114343	ラベル – 緊急下降	1
114390	危険 – 感電の危険	3
114397	危険 – 傾斜アラーム	1
133286	ラベル – 充電器への電力*	1
139587	ラベル – 輪荷重、Z34 DC***	4
139590	ラベル – 輪荷重、Z-34N***	4
218550	危険 – 転倒の危険、500 lbs/227 kg*	1
218559	危険、警告 – 転倒、挟まる危険	1
219487	ラベル – 作業台過負荷	1
227213	指示 – 地上操作	1
1263543	警告 – コンパートメントへのアクセス	3
1267121	警告 – 手のケガの危険、点検	1
1272242	ラベル – 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278542	ラベル – 接触アラーム重量***	1
1278982	ラベル – アクチュエータスイッチソケット***	1
1280819	ラベル – 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1281174	ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止	6
1293324	ラベル – ICES-2/CAN-2 規制	1
1294398	ラベル – ANSI/CSA 準拠	1
1298510	ラベル – 輸送およびリフト、Z-34	1
1298837	ラベル – 暴走の危険、傾斜 Z-34N*	1
1298838	ラベル – 暴走の危険、傾斜、Z-34 DC*	1
1298845	危険 – 転倒の危険、タイヤ仕様***	4
1298847	危険 – 転倒の危険、タイヤ仕様、Z-30N, Z-34N***	4
1298858	ラベル – リレーヒューズパネル	1
1299791	ラベル – 最大積載重量、440 lbs/200 KG、側方圧力 90 lbs/400 N*	1
1333913	ラベル – 状態ランプ (搭載されている場合)	1

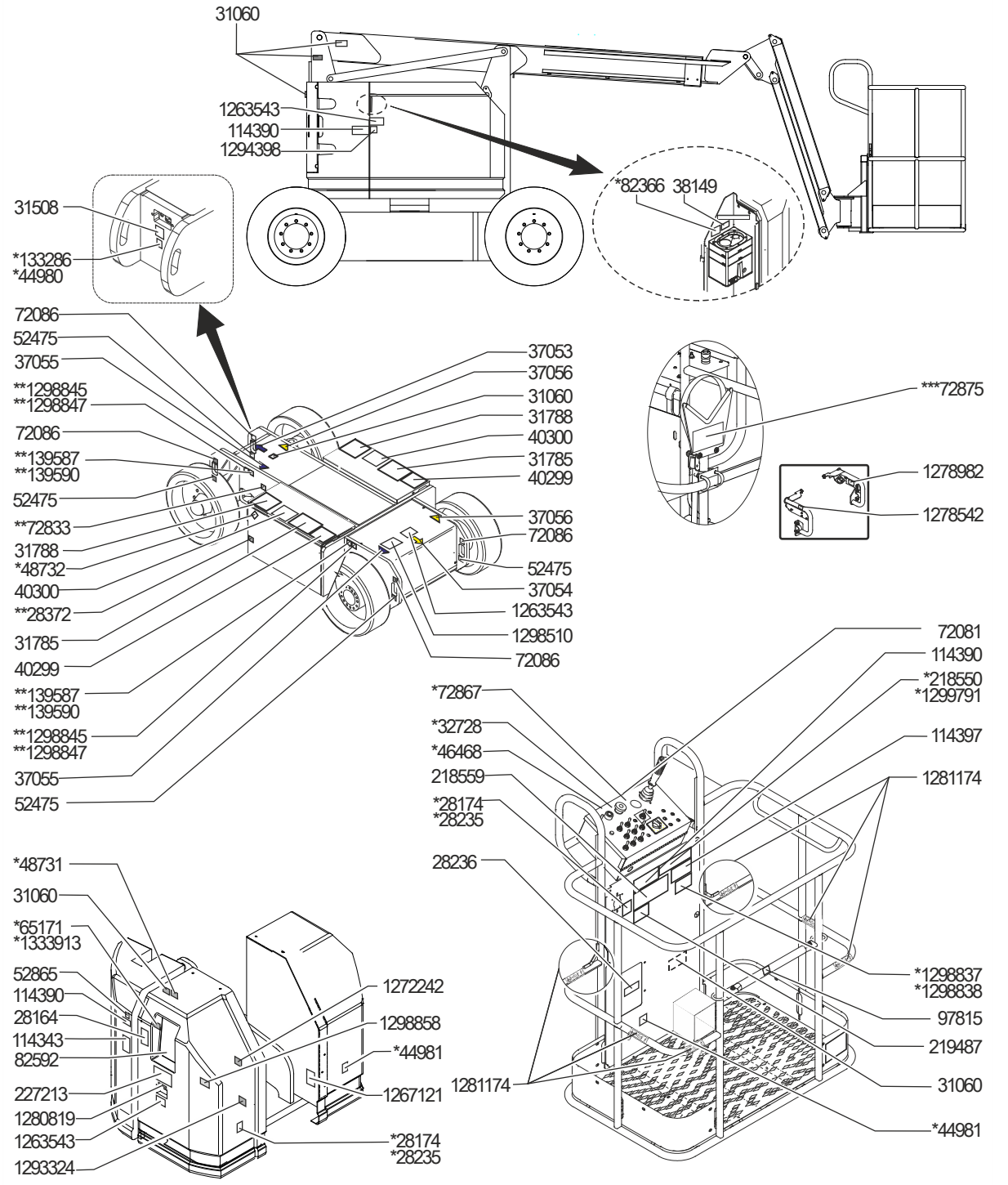
* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


31060
1263543
114390
1294398
*82366 38149
31508
*133286
*44980
72086
52475
37055
**1298845
**1298847
72086
**139587
**139590
52475
**72833
31788
*48732
40300
**28372
31785
40299
**139587
**139590
**1298845
**1298847
37055
52475
37053
37056
31060
31788
40300
31785
40299
37056
72086
52475
37054
1263543
1298510
72086
***72875
1278982
1278542
72081
114390
*218550
*1299791
114397
1281174
*72867
*32728
*46468
218559
*28174
*28235
28236
*1298837
*1298838
97815
219487
31060
*44981
1281174
*48731
31060
*65171
*1333913
52865
114390
28164
114343
82592
227213
1280819
1263543
1293324
1272242
1298858
*44981
1267121
*28174
*28235

点検

シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
32728	ラベル ー 発電機 (オプション)*	1
37053	矢印 ー 青	1
37054	矢印 ー 黄	1
37055	三角 ー 青	2
37056	三角 ー 黄	2
38149	ラベル ー 特許品	1
44980	ラベル ー 充電器への電力、115V*	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管*	2
46468	機能優先(航空機保護パッケージ)*	1
48732	ラベル ー EE 定格 (オプション)*	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め**	4
72081	作業台操作パネル	1
72086	ラベル ー 吊り上げ点**	4
72867	ラベル ー 作業ランプ (オプション)*	1
82366	ラベル ー Chevron Rando*	1
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	2
82487	ラベル ー マニュアルを読む***	6
82592	地上操作パネル	1
82610	ラベル ー 回路ブレーカー & 状態ランプ	1
82611	ラベル ー 走行機能パッチ	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
114248	ラベル ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
114249	ラベル ー 転倒の危険、タイヤ***	4
114252	ラベル ー 転倒の危険、リミットスイッチ	6
114334	ラベル ー 感電の危険、プラグ	1
114343	ラベル ー 緊急下降	1
133067	ラベル ー 感電の危険	3
133286	ラベル ー 充電器への電力、一般*	1
139587	ラベル ー 輪荷重、Z-34/22 DC***	4
139590	ラベル ー 輪荷重、Z-34/22N***	4
219954	ラベル ー 転倒の危険*	1
219956	ラベル ー 作業台過負荷	1
219958	ラベル ー 転倒、挟まる危険	1
1263542	ラベル ー コンパートメントへのアクセス	3
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278542	ラベル ー 接触アラーム重量	1
1278982	ラベル ー アクチュエータスイッチソケット*	1
1281174	ラベル ー 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止*	6
1286362	ラベル ー 挟まる危険、点検	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1298510	ラベル ー 輸送図、Z-34	1
1298858	ラベル ー リレーヒューズパネル、Z30/34 DC	1
1299436	ラベル ー 定格勾配、シンボル ー Z-30N、Z-34N*	1
1299437	ラベル ー 定格勾配、Z-34 DC*	1
1299573	ラベル ー バッテリー重量、Z-34N、Z-34 DC	2
1299792	ラベル ー 転倒の危険 航空機保護*	1
1333914	ラベル ー 状態ランプ（搭載されている場合）	1

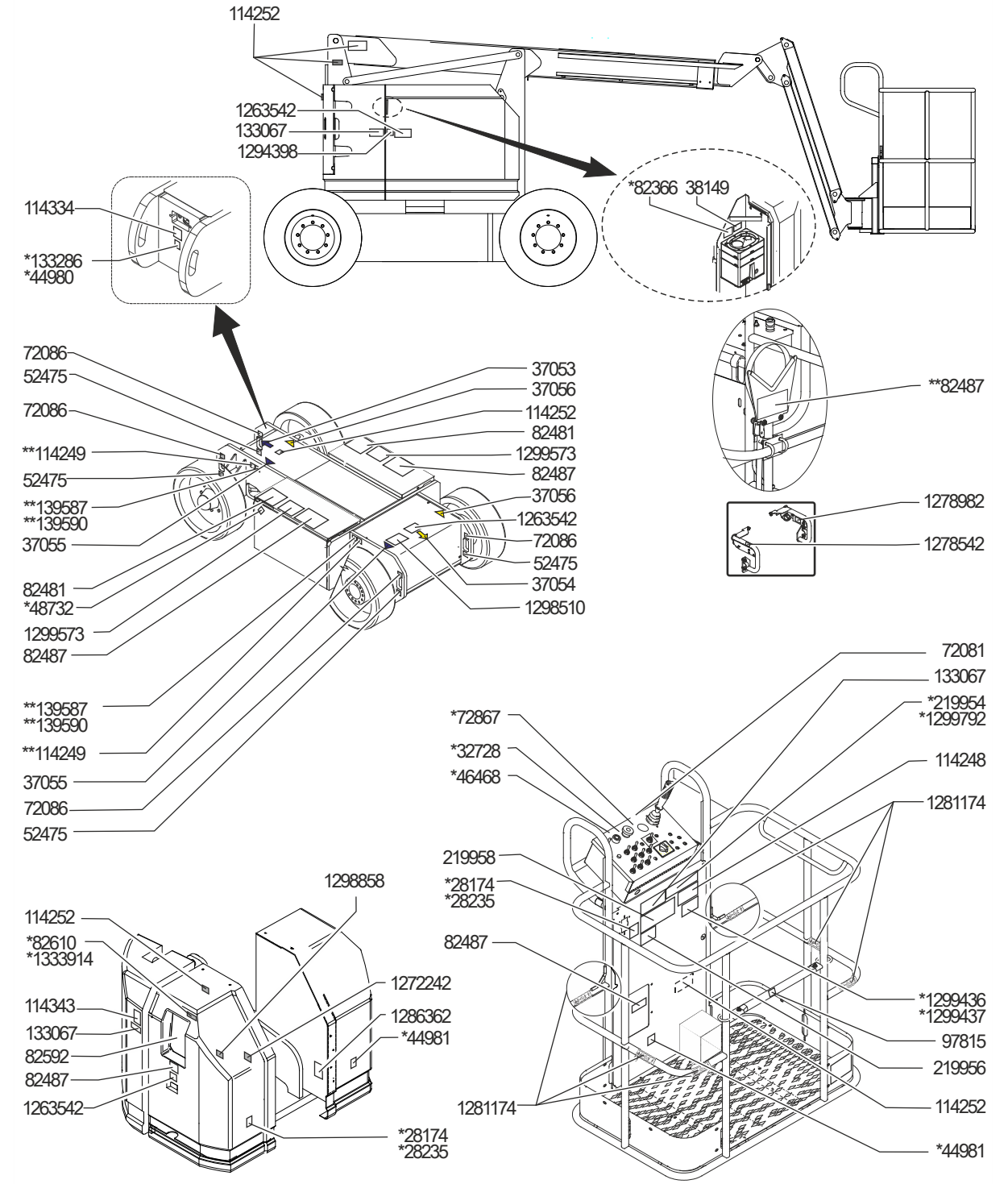
* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


114252
1263542
133067
1294398
*82366 38149
114334
*133286
*44980
72086
52475
72086
**114249
52475
**139587
**139590
37055
82481
*48732
1299573
82487
37053
37056
114252
82481
1299573
82487
37056
1263542
72086
52475
37054
1298510
**82487
1278982
1278542
**139587
**139590
**114249
37055
72086
52475
72081
133067
*219954
*1299792
*72867
*32728
*46468
114248
1281174
219958
*28174
*28235
82487
*1299436
*1299437
97815
219956
114252
*44981
1281174
1298858
114252
*82610
*1333914
114343
133067
82592
82487
1263542
1272242
1286362
*44981
*28174
*28235

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助電源

1 主電源が停止した場合に、補助電源を使用してください。

2 補助電源スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。



地上からの操作

1 機械の操作前に両方のバッテリーパックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

作業台を配置する

1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。



2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

注記：走行と操舵機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 機械の操作前に両方のバッテリーパックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を配置する

1 ブーム機能速度コントローラーを任意の速度に設定します。

注記：走行および操舵機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

2 ペダルスイッチを踏みます。

3 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、下り傾斜に作業台がある場合（登坂能力）:
Z-34/22N: 35% (19°)
Z-34/22 DC: 30% (17°)



最大定格勾配、上り斜面に作業台がある場合:
20% (11°)



最大定格横勾配:
25%（14°）

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。登坂能力という用語は、谷側に作業台がある状態の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非操舵輪の間にあることを確認します。

傾斜勾配の確認方法

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能



表示ランプの点灯は、ブームが非操舵輪を超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチを上か下に動かしたままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

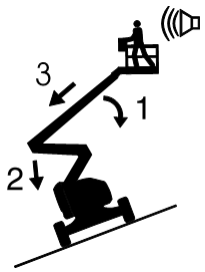
低圧遮断（搭載している場合）

低圧遮断オプション付きの機械は、バッテリーが低下すると、作業台から主ブームと補助ブームのリフト機能が使用できなくなります。

機械非水平表示器ランプ



作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、細心の注意を払ってください。機械の傾斜表示ランプが点灯すると、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

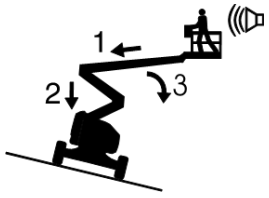


作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 主ブームを下げます。

2 補助ブームを下げます。

3 主ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 主ブームを収縮します。

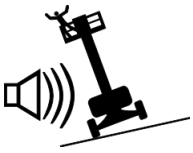
2 補助ブームを下げます。

3 主ブームを下げます。

操作手順

傾斜センサー動作設定

モデル	シャーシ角度（片側からもう一方側）	シャーシ角度（前方から後方）
Z-34 N	4.5°	2.5°
Z-34 DC	4.5°	2.5°



傾斜表示ランプが点灯し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。走行機能が無効になります。

先の手順で説明しているブーム下降手順に従って、走行機能を復元してください。



傾斜面で機械を収納し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。リフト機能が無効になります。

リフト機能を復元するには、平らな地面に機械を移動してください。

作業台過負荷表示ランプ



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。すべての機能が作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。

航空機保護パッケージ（搭載されている場合）

作業台バンパーが航空機コンポーネントに接触すると、機械が停止してすべての機能が作動しなくなります。

1 エンジンを始動させます。

2 ペダルスイッチを踏みます。

3 航空機保護機能優先スイッチを動かしてそのままにします。

4 適切な機能コントロールハンドルまたはトグルスイッチを動かして、機械を航空機コンポーネントから離してください。

操作手順

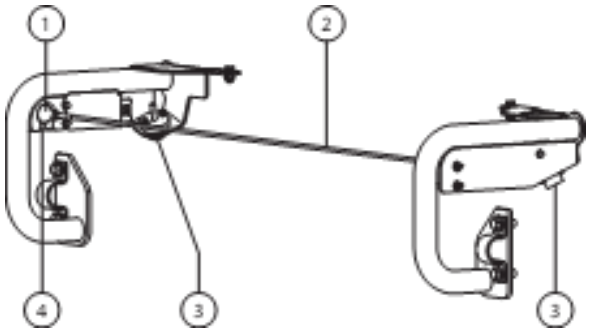
接触アラーム（搭載されている場合）

接触アラームはアラームと点滅した警告ランプで、オペレータが作業台操作パネルに接触し、ブームの動作を妨害したことを地上作業員に知らせることを目的としています。

接触アラームケーブルが作動すると、作業台でのリフトおよび走行機能は無効になります。音声と視覚を用いた警告は、他の作業員にサポートが必要であることを知らせます。この通知の動作はシステムがリセットされるまで続きます。

1 スイッチソケットからアクチュエータが解除され、接触アラームケーブルが作動します。

2 アクチュエータをスイッチソケットに挿入して、ランプの点灯とアラームを止めます。



1 アクチュエータ
2 接触アラームケーブル
3 点滅アラーム
4 スイッチソケット

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

機械の収納

長期保管のための準備と収納を適切に行うことで、機械を再び使用することが容易になります。

1 基本的な機械の収納方法については、「使用後の注意」のセクションを参照してください。

2 この機会は、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。機械がきれいで、乾燥していることを確認してください。

3 動作前点検を完全に実施します。

エンジン搭載モデル：燃料タンクを満タンにします。

4 該当するサービスマニュアルの「定期保守点検」のセクションを参照し、各潤滑手順を完了させてください。

5 バッテリーを取り外して保管します。

6 エンジン搭載モデル：その他の長期保管の手順については，OEM エンジンのマニュアルを参照してください。必要に応じて、エンジンを始動して 10 分間作動させます。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

メンテナンス不要のバッテリー

1 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

2 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

2 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

3 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

4 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送および持ち上げの手順



必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前に、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

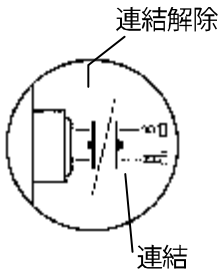
☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

輸送および持ち上げの手順

ウィンチ用のフリーホイール設定

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 走行ハブ取外しキャップを裏返して、非操舵輪のブレーキを解除します。



3 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

機械を載せた後は、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 走行ハブ取外しキャップを反して、非操舵ホイールブレーキを使用します。

Genie Z-34 DC または Genie Z-34N の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、2 mph/時速 3.2 km を超えないでください。

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 4 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

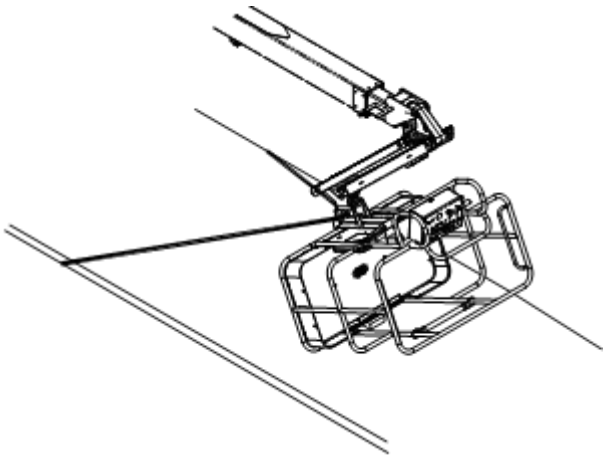
チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。

作業台の固定

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

作業台出入口下の作業台端の下にブロックを置きます。

作業台回転位置付近の作業台マウントにナイロントラップを掛けて、作業台を固定してください（下図を参照）。ブーム部分を固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ては、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 承認されたクレーン作業員のみが、適切なクレーン規制のみに従い、機械の持ち上げを行わなければなりません。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

リフトの手順

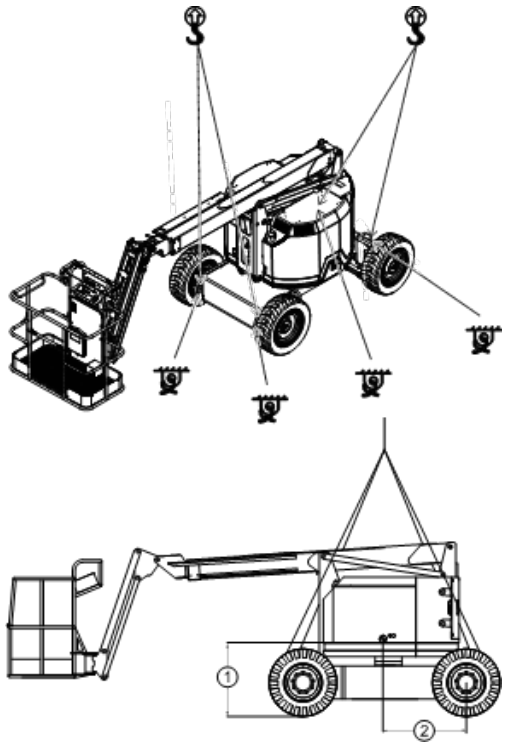
ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。シャーシには、吊り上げ点が 4 箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

モデル	Z-34/22	Z-34/22N
Y 軸 (1)	38.8 in 98.6 cm	32 in 81.2 cm
X 軸 (2)	30.7 in 74.6 cm	34 in 86.3 cm



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 作動油量を点検します。

⊙ 結果：作動油の量は、油圧タンクの FULL（満タン）と ADD（追加）のマークの間を指している必要があります。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD と同等 Premium MV と同等

注記：寒冷気候での操作と代替の作動油の情報に関しては、Genie ブームの保守マニュアルを参照してください。

メンテナンス

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

標準バッテリー

3 バッテリー通気孔のキャップを外します。

4 各バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

5 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

仕様

Z-34/22N

高さ、操作時最大	40 ft 6 in	12.5 m
高さ、作業台最大	34 ft 6 in	10.5 m
高さ、収納時最大	6 ft 7 in	2 m
水平最大到達距離	22 ft 3 in	6.8 m
幅	4 ft 10 in	1.5 m
長さ、作業台収納時	18 ft 9 in	5.7 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/秒
ホイールベース	6 ft 2 in	1.9 m
旋回半径 (外側)	13 ft 5 in	4.1 m
旋回半径 (内側)	7 ft	2.1 m
最低地上高	5.5 in	14 cm
ターンテーブル旋回		355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0 in	0 cm
電源		8 グループ 902、J305、6 V 315AH バッテリー

走行速度

ブーム収納時	4.0 mph 40 ft/6.8 秒	6.4 km/h 12.2 m/6.8 秒
ブーム上昇または延長時	0.6 mph 40 ft/40 秒	1.0 km/h 12.2 m/40 秒
操作パネル		24 V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)		56 in x 30 in 1.42 m x 76 cm

作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	180°
作業台 AC コンセント	標準
油圧、最大(ブーム機能)	3,200 psi 221 バール
システム電圧	48 V
タイヤサイズ、ソリッドタイヤ	22 x 7 x 17.75 in

重量
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

最大勾配の定格値、収納状態

作業台が下り傾斜にある場合	35%	19°
作業台が上がり傾斜にある場合	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容外圧力	「傾斜センサー動作設定」の項参照
周囲操作温度	-20°F～120°F -29°C～49°C

床荷重表

最大輪荷重	6,450 lbs	2,926 kg
タイヤ接地圧 (タイヤ毎)	103 psi	7.24 kg/cm^2 710 kPa
車体占有面の平均圧力	308 psf	14.75 kPa 1,504 kg/m^2

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

Z-34/22DC

高さ、操作時最大	40 ft 6 in	12.5 m
高さ、作業台最大	34 ft 6 in	10.5 m
高さ、収納時最大	6 ft 7 in	2 m
水平最大到達距離	22 ft 3 in	6.8 m
幅	5 ft 8 in	1.7 m
長さ、作業台収納時	18 ft 6 in	5.6 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/秒
ホイールベース	6 ft 2 in	1.9 m
旋回半径 (外側)	13 ft 1 in	4 m
旋回半径 (内側)	5 ft 9 in	1.8 m
最低地上高	6 in	15 cm
ターンテーブル旋回		355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0 in	0 cm
電源	8 グループ 902、J305、6 V 315AH バッテリー	

走行速度

ブーム収納時	4.0 mph 40 ft/6.8 秒	6.4 km/h 12.2 m/6.8 秒
ブーム上昇または延長時	0.6 mph 40 ft/40 秒	1.0 km/h 12.2 m/40 秒
操作パネル		24 V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)		56 in x 30 in 1.42 m x 76 cm

作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	180°
作業台 AC コンセント	標準
油圧、最大(ブーム機能)	3,200 psi 221 バール
システム電圧	48 V
タイヤ サイズ フォームタイヤのみ	9-14.5 LT
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)	

最大勾配の定格値、収納状態

作業台が下り傾斜にある場合	30%	17°
作業台が上がり傾斜にある場合	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容外圧力	「傾斜センサー動作設定」の項参照
周囲操作温度	-20°F～120°F -29°C～49°C

床荷重表

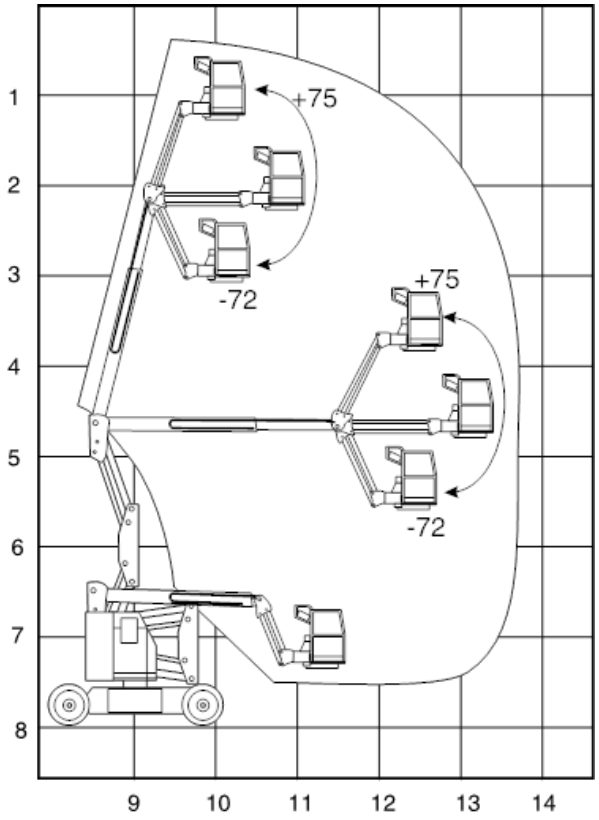
最大輪荷重	5,850 lbs	2,654 kg
タイヤ接地圧 (タイヤ毎)	100 psi	7.03 kg/cm^2 689 kPa
車体占有面の平均圧力	239 psf	11.44 kPa 1,167 kg/m^2

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

動作範囲表



最大高さ		
1	35 ft	10.6 m
2	30 ft	9.1 m
3	25 ft	7.6 m
4	20 ft	6.1 m
5	15 ft	4.6 m
6	10 ft	3 m
7	5 ft	1.5 m
8	0 ft	0 m

最大到達		
9	0 ft	0 m
10	5 ft	1.5 m
11	10 ft	3 m
12	15 ft	4.6 m
13	20 ft	6.1 m
14	25 ft	7.6 m

代理店:

www.genielift.com